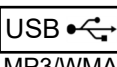


取扱説明書 KRH-M202 ESPERIA

DC12-24V共用仕様 MW(AM)/ワイドFM/Bluetooth/
USB/MP3/WMA/AUX/ステレオレシーバー



MP3/WMA

お買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。

お読みになった後は、大切に保管してください。万一ご使用中わからないことや不具合が生じたとき、必ずお役に立ちます。

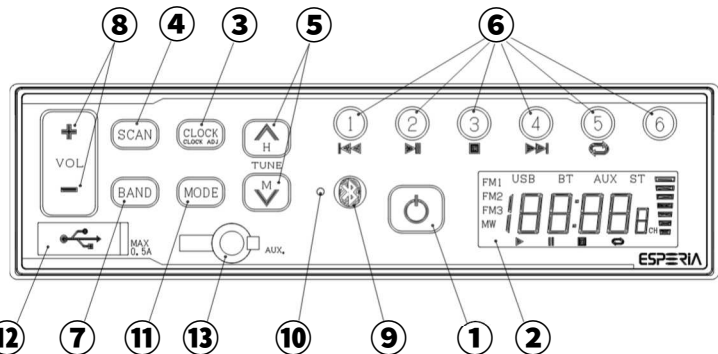
また、運転中に本機の操作を行うと前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから操作を行ってください。



本機の防水性能について

- (1) 本機は完全防水ではありません。操作面は防滴ですが直接水をかけたりしないでください。周囲から内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。
- (2) ゴムキャップは完全に閉まっている事を確認してお使いください。
- (3) 本機に衝撃を与えないでください。破損により、防滴性能が劣化する原因となることがあります。

各部の名称と働き

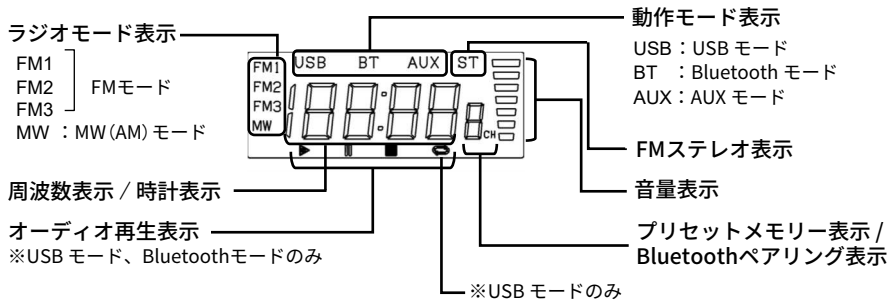


① 電源 [] ボタン

ボタンを押すと電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます。

② ディスプレイ (表示器)

時計、ラジオ受信周波数及び動作モードが表示します。



③ クロック [CLOCK CLOCK ADJ.] ボタン

ラジオ受信中はボタンを押すとディスプレイ表示が時計に変わり、もう一度押すと周波数を表示します。そのままの状態にしておくと、約3秒後自動的に周波数表示に戻ります。2秒以上押すと、“時刻”が点滅し時計調整モードになります。

④ オートストアメモリー [SCAN] ボタン

ラジオ受信中にボタンを押すと、現在受信中のバンド内の受信可能な放送局を自動的に探し、プリセットメモリーボタンの①～⑥にメモリーします。

⑤ チューニング [TUNE ,] ボタン

[] ボタンを押すと受信周波数が1ステップ高くなり、[] ボタンを押すと受信周波数が1ステップ低くなります。(マニュアル選局)
[] ボタンを2秒以上押すと周波数が自動的に高い方へ、[] ボタンを2秒以上押すと周波数が自動的に低い方へ変化し放送局を探し、受信できたところで停止します。途中で止めたい場合はもう一度押します。(シーク選局)

⑥ プリセットメモリー [① ～ ⑥] ボタン(USBボタン、Bluetoothコントロール兼用)

各ボタンにFM3局(FM1, FM2, FM3)、MW(AM)1局ずつプリセットメモリーできます。

⑦ バンド [BAND] ボタン

ラジオモード(⑪動作モード切替ボタン参照)にてボタンを押すたびに次のようにバンドが変わり、ディスプレイに受信バンドと周波数を表示します。 → FM1→FM2→FM3→MW(AM) →

⑧ 音量調節 [VOL +, -] ボタン

[VOL+] ボタンを押すと音が大きくなり、[VOL-] ボタンを押すと音が小さくなります。押し続けると音量が連続的に変化します。

⑨ Bluetooth® [] ボタン

本機は、Bluetooth対応機器(スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど)とペアリング(登録)してBluetooth機器の音楽などが再生できます。
ボタンを押すとペアリング済みの最後に接続したBluetooth機器に接続されます。
「ピピッ」と音が鳴るまで押すとペアリングが解除されペアリング待機モードとなります。

⑩ Bluetooth LED

Bluetooth機器が接続されている場合は点灯、切断時は消灯、検索時は点滅します。

⑪ 動作モード切替 [MODE] ボタン

ボタンを押すたびに次のように動作モードが変わります。 → FM or MW(AM)→USB→BT→AUX →
USBモード、Bluetoothモード、AUXモード時は表示が周波数から時計に切り替わります。

⑫ USB端子() ※Type A

ご使用されるときはゴムキャップ*1を開け、市販のUSB延長ケーブルを使用し、USBメモリと接続してください。延長ケーブルがご使用になれないときはショートタイプUSBメモリをご使用ください。USBメモリが突起物となり危険を及ぼす場合がありますのでご注意ください。

⑬ AUX端子(AUC.) ※φ3.5mmステレオミニジャック

ご使用されるときはゴムキャップ*1を開け、市販のAUX接続ケーブルを使用し、ポータブルオーディオ(オーディオプレーヤー、スマートフォン、携帯電話など)と接続してください。本機側は、ステレオミニプラグ(φ3.5mm)を接続してください。

KRH-M202 保証書

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理させていただく事をお約束するものです。
保証期間中に故障が発生した時は、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用する事があります。★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因により生じた故障。または故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
(ロ)お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下などによる故障及び損傷。
(ハ)火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、その他天変地異、異常電圧等不慮の事故により生じた故障及び損傷。
(ニ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
(ホ)消耗品。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、商品と本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店に依頼してください。
3. 本保証書は日本国内で使用される場合にのみ適用されます。(This warranty is valid only in Japan.)
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

保証期間	ご購入日より	年	月	日から
★お客様	ご名 ご所 お話	※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。※保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店へお問い合わせください。		
★販売店	店 住 電	エスperia株式会社 〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-85 TEL(049)226-9120 FAX(049)226-9136		

時計の調整について

- (1) [CLOCK CLOCK ADJ.] ボタンを2秒以上押すと、ディスプレイの“時刻”が点滅し時計調整モードになります。
- (2) [] ボタンを押すと“時”が、[] ボタンを押すと“分”が修正できます。
- (3)再度 [CLOCK CLOCK ADJ.] ボタンを押して時計表示(ラジオモードは周波数)に戻します。

ラジオを聴くには

- (1) イグニッションキーをアクセサリ(ACC)またはONにし、[] ボタンを押してラジオの電源をオンにします。
- (2) [BAND] ボタンでFM1, FM2, FM3またはMW(AM)にします。
- (3) プリセットメモリーボタンまたはチューニングボタンで選局し音量を調整します。
- (4) ラジオをオフにするときは、[] ボタンを押します。

FMステレオ放送の受信について

FMステレオ放送を受信するとディスプレイに“ST”が表示されます。受信状態が悪化すると自動的にノイズの少ないモノラルに切り替わり“ST”表示は消えます。

マニュアル選局について

手動で選局を行います。[] ボタンを押すと受信周波数が1ステップ高くなり、[] ボタンを押すと受信周波数が1ステップ低くなります。

シーク(自動)選局について

[] ボタンを2秒以上押すと周波数が自動的に高い方へ、[] ボタンを2秒以上押すと周波数が自動的に低い方へ変化し放送局を探し、受信できたところで停止します。途中で止めたい場合はもう一度押します。

プリセットメモリーについて

- (1) [BAND] ボタンを押してFM1, FM2, FM3またはMW(AM)を選び、ご希望の放送を選びます。
- (2) プリセットしたい番号のプリセットメモリーボタンを3秒以上押し続けると、ボタンと同じ番号がディスプレイに表示されプリセットメモリーが完了します。
- (3) 他のボタンも(1)と(2)を繰り返しプリセットメモリーします。
・各ボタンにFM3局(FM1, FM2, FM3)、MW(AM)1局ずつプリセットメモリーできます。
注意
・一度プリセットメモリーしたボタンを3秒以上押すとプリセット周波数が現在の周波数に上書きされます。

オートストアメモリーについて

ラジオ受信中に [SCAN] ボタンを押すと現在受信中のバンド内の受信可能な放送局を自動的に探してプリセットメモリーボタンの ① ～ ⑥ にメモリーします。
注意
・オートストアメモリーすると以前にメモリーされていた放送局は上書きされます。
・希望のボタンにメモリーされないときは、手動でプリセットしてください。

Bluetoothの取り扱いについて

Bluetoothの各機能を使用される前にお読みください。
本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。
・本機を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局および、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、本機から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を移動するか、または電波を停止し、電波干渉を避けてください。
・その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店までお問合せください。
※Bluetoothワードマーク及びロゴは、Bluetooth SIG INCが所有する登録商標であり、エスperia株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。

Bluetooth機器のペアリング(登録)について

- お手持ちのBluetooth機器を利用するときは、本機にペアリングする必要があります。
※あらかじめBluetooth機器のBluetoothをオンに設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくはBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- (1) [MODE] ボタンを押して、Bluetoothモードに切り替えます。
 - (2) Bluetooth機器のBluetoothを有効にします。
※Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
 - (3) [] ボタンを「ピピッ」と音が鳴るまで長押しします。
※ディスプレイに“P”が点滅しているときはペアリング待機モードです。
 - (4) Bluetooth機器で“CAR RADIO”を選択します。

*1 ご使用にならないときは必ずゴムキャップを閉じておいてください。

Bluetooth機器のペアリング（登録）について（つづき）

- 注意
- 一度にペアリングできるBluetooth機器は1台です。
 - 電源を入れると最後に接続したBluetooth機器に再接続する機能があります。
本機(お車など)を離れるときは、誤接続防止のため〔〕ボタンを〔ピピッ〕と音が鳴るまで押してペアリングを解除してください。
 - 再度ペアリングする場合は、（1）～（4）を繰り返してください。
 - Bluetooth機器は見通しの良い場所で約10m以内で使用してください。

Bluetooth機器の音楽などの再生について

既にBluetooth機器をペアリング済の場合 (Bluetooth LEDが点灯している場合)、〔MODE〕ボタンを押しBluetoothモードに切り替えます。
Bluetooth再生時は、プリセットメモリーボタンの①～④ボタンで次の操作ができます。

- ① 戻る〔〕ボタン
再生中の曲(トラック)の曲頭から再生します。連続押しで任意の曲まで戻ることができます。
- ② 再生／一時停止〔〕ボタン
再生中にボタンを押すと再生がストップします。再度このボタンを押すと、ストップした位置から再生を開始します。
- ③ 停止〔〕ボタン
再生中にボタンを押すと曲が停止します。再生 / 一時停止〔〕ボタンを押すと、再生していた曲の再生を開始します。
- ④ 進む〔〕ボタン
現在再生中の次の曲頭から再生します。連続押しで任意の曲まで進むことができます。

- 注意
- Bluetooth機器の機種によっては戻る、再生 / 一時停止、進む操作ができない場合があります。
 - 本機から音が出ないときはBluetooth機器の出力先が“ CAR RADIO ”になっている事を確認してください。

Bluetooth機器の電話着信について

既にBluetooth機器をペアリング済の場合 (Bluetooth LEDが点灯している場合)、本機は着信待ちモードになっています。着信があると、液晶ディスプレイに“CALL”が表示され、本機の音量が自動的にミュートになり、スピーカーから着信音が鳴ります。

- 注意
- 本機は通話用のマイクを内蔵しておらず、電話の着信呼び出し機能のみの対応となります。
通話には対応していませんのでご注意ください。
 - Bluetooth機器と接続後、Bluetooth機器のマイクの設定が『Bluetooth優先』になっている場合やBluetooth機器の機種によっては、着信時にBluetooth機器で通話ができない場合があります。
Bluetooth機器の通話設定で『Bluetooth優先』を解除していただくか、通話の画面でマイクを本機からBluetooth機器に切り替えて通話を行ってください。
 - 通信会社やBluetooth機器の機種により表示や着信音などの挙動が異なる場合があります。
 - ご使用の前に一度通話のテストを行う事をお勧めします。

USBメモリの再生について

USBメモリを挿入してから〔MODE〕ボタンを押して、USBモードに切り替えます。
(ディスプレイに“USB”と表示され、時計表示になります)
USBメモリ再生時は、プリセットメモリーボタンの①～⑤ボタンで次の操作ができます。

- ① 戻る〔〕ボタン
1曲(トラック)前に戻り曲頭から再生します。連続押しで任意の曲まで戻ることができます。
長押しすると、現在再生中の曲を早戻しします。
- ② 再生 / 一時停止〔〕ボタン
再生中にボタンを押すと再生がストップします。再度このボタンを押すと、ストップした位置から再生を開始します。
- ③ 停止〔〕ボタン
再生中にボタンを押すと再生がストップします。再生 / 一時停止〔〕ボタンを押すと、再生していた曲頭から再生を開始します。
- ④ 進む〔〕ボタン
現在再生中の次の曲頭から再生します。連続押しで任意の曲まで進むことができます。
長押しすると、現在再生中の曲を早送りします。
- ⑤ リピート〔〕ボタン
再生中にボタンを押すと“”と表示し、再生中の曲を繰り返し再生します。再度このボタンを押すとリピート機能が解除され“”表示が消えます。

- 注意
- 全てのUSBメモリとの接続を保証するものではありません。
 - USBメモリは音声圧縮方式MP3(MPEG-1 Audio Layer3(～192kbps)), WMA (Windows Media™ Audio)を再生できます。
 - USBメモリの抜き差しは、USBモード以外に行ってください。
 - USBメモリ接続時は市販のUSB延長ケーブルをご使用ください。延長ケーブルがご使用できない場合はショートタイプUSBメモリをご使用ください。USBメモリが突起物となり危険を及ぼす場合がありますのでご注意ください。
 - USBメモリ以外の機器は接続しないでください。Bluetooth機器の充電はできません。
 - 本機との組み合わせでの使用時にUSBメモリのデータ消失、破損した場合でも、その補償については責任を負いかねますのでご了承ください。

AUXの再生について

- (1) ポータブルオーディオのヘッドフォン端子と市販のAUX接続ケーブルを使用し接続します。
※本機側は、ステレオミニプラグ(φ3.5mm)を接続してください。
- (2) 〔MODE〕ボタンを押して“AUX”を選択し、AUXモードに切り替えます。
(ディスプレイに“AUX”と表示され時計表示になります)
- (3) ポータブルオーディオを再生すると音楽などを聴く事ができます。
※本機の音量調整ボタンで音量調整可能です。
- (4) 再度〔MODE〕ボタンを押すとラジオに戻ります。

- 注意
- ポータブルオーディオの音量は、接続時ラジオの音量と同程度となる様に調整してください。
 - ポータブルオーディオ以外の出力が大きい物は接続しないでください。

リセットについて

周波数表示が違う、切り替えができないなどの不具合のときは〔〕ボタンを押しながら〔〕ボタンを押して本機をリセットしてください。
※この場合プリセットメモリー、時計はクリアされます。

故障かなと思ったら

	現 象	原 因	処 置
共通	ボタンを押しても動作しない。またはディスプレイが正確に表示しない。	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している。	「リセットについて」に従い本機をリセットしてください。 リセットした後は、プリセットメモリーなどが全て消えますので再度設定してください。
ラジ	雑音が多い。	放送局の周波数に合っていない。	正しい周波数に合わせてください。
		アンテナが伸びていない。 (ピラーアンテナをご使用の場合)	ラジオをご使用の際は、ピラーアンテナを伸ばした状態でご使用ください。
		アンテナのアースが取れていない、又は正常に取り付けられていない。	お買い上げの販売店へご相談ください。
ジ		アンテナの電源が接続されていない。	ブースター内蔵のアンテナなどはアンテナへ電源の接続が必要です。詳しくはお買い上げの販売店へご相談ください。
オ	あり得ない周波数を表示する。	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している。	「リセットについて」に従い本機をリセットしてください。 リセットした後は、プリセットメモリーなどが全て消えますので再度設定してください。
Bluetooth機器の接続ができない。		Bluetooth機器との接続が確立されていない。	お使いのBluetooth機器の機種によっては接続までに時間がかかる場合や、自動で再接続しないときもあります。Bluetooth LEDが点灯している事をお確かめ頂き、時間をおいても点灯しない場合は「Bluetooth機器のペアリング(登録)について」に従い再度ペアリングを行ってください。
		他のBluetooth機器が接続されている。	他のBluetooth機器が接続されている場合は「Bluetooth機器のペアリング(登録)について」に従い再度ペアリングを行ってください。
Bluetooth機器をリモートコントロールできない。		AVRCPプロファイルが接続されていない。	Bluetooth機器に接続されている全ての接続を切断し、再度「Bluetooth機器のペアリング(登録)について」に従いペアリングを行ってください。
		機器間の接続リンク(ペアリング)が壊れている可能性がある。	再度「Bluetooth機器のペアリング(登録)について」に従いペアリングを行ってください。
		AVRCPに対応していない。	Bluetooth機器の対応プロファイルをご確認ください。
Bluetooth機器の音楽などの音が出ない。		Bluetooth機器の音量が小さい。	Bluetooth機器の音楽などの再生ではBluetooth機器の音量が影響されます。Bluetooth機器の音量を適正な値に設定してください。
		Bluetooth機器の出力先が“ CAR RADIO ”になっていない。	Bluetooth機器の出力先が“ CAR RADIO ”になっている事を確認してください。
電話で通話ができない。		本機はBluetoothでの通話には対応していません。Bluetooth機器の機種によっては本機に通話のプロファイルで接続してしまう場合があります。	ご使用のBluetooth機器の取扱説明書に従い、通話の画面でマイクの設定を本機からBluetooth機器のマイクに切り替えてください。
電話の着信後、Bluetooth機器の音楽などが途切れる。		ご使用のBluetooth機器の機種によっては電話の割り込み後にBluetoothが再開されない場合があります。	通話終了後、「Bluetooth機器のペアリング(登録)について」に従い再度ペアリングを行ってください。
U	音が出ない。	USBメモリにMP3 / WMAファイルが無い。	USBメモリにMP3 / WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3 / WMAファイルではない。	正しくエンコードされたMP3 / WMAファイルをご使用ください。
S	音飛びする。 ノイズなどが入る。	MP3 / WMAファイルが正しくエンコードされていない。	正しくエンコードされたMP3 / WMAファイルをご使用ください。
		USBメモリが破損している。	新しいUSBメモリと交換してください。
		USBコネクターの接触が悪い。	USBコネクターを抜き差ししてください。
B	USB機器が認識されない。	USBメモリがFAT32 / FAT16でフォーマットされていない。	USBメモリをFAT32 / FAT16ファイルシステムでフォーマット後、再度MP3 / WMAファイルを書き込んでください。 フォーマットをする際は必ず、事前にUSBメモリのバックアップをお取りください。

仕 様

共通	Bluetooth部
電源電圧	規格：Ver 5.0 送信出力：Class2（見通し通信距離約10m） サポートプロファイル：HFP (V1.7), A2DP (V1.3), AVRCP (V1.6)
消費電流	
定格出力	
最大出力	
外形寸法	
FM部	
受信周波数	MP3: MPEG-1 Audio Layer 3 準拠
実用感度	WMA: Windows Media™ Audio 準拠
S/N比	サポートファイルシステム：FAT32 / FAT16 File system
MW (AM) 部	最大出力：DC5V 0.5A
受信周波数	
実用感度	
S/N比	
AUX部	
端子仕様	：ステレオミニジャック(φ3.5mm) 最大入力 1V, 定格入力 90mV

・外観及び仕様は改良のため予告なく変更することがあります。